解読文 凡例

- 1 書き下し文をもって解読文とする。
- 2 原則として旧漢字は新漢字に変換する。
但し、題名は「江乃島紀行」とする。
また文中の固有名詞については、原文を尊重し、
旧漢字のままとする。

例 壽福寺

- 3 変体仮名はひらがなに変換する。
但し、ゐ、ゑは原文を尊重し、そのままとする。

- 4 理解を助けるため、かな表記の横に漢字表記を加える。

例 東しのめ 至いたる

対象となる語句が行をまたぐ場合、その語句に
傍線をつけて、該当する漢字を加える。

例

け美理にじん

覚わりのおぼ

- 5 誤記と思われる漢字の横に（ ）付で正しごと
と思われる漢字を付記する。

例 雲慶(通) 由井が浜(比)